

動物実験実施状況報告書

提出日 平成 31 年 3 月 1 日

動物実験責任者	〔所属・職〕 東が丘看護学部看護学科・講師 (内線) 305 〔氏 名〕 小字田 智子  [E-mail] t-kouda@thcu.ac.jp		
研 究 課 題	二次胆汁酸の大腸上皮に対する影響とヤマワサビ葉抽出物の効果	※承認番号	
動物実験の実施期間	平成 30 年 5 月 1 日 ～ 平成 31 年 2 月 28 日		
総合的实施状況	・総合的にみて、適正に実施することができたか。 ☒ 適 ☐ 不適→		
3 R	動物の選択	・使用した動物種は適正であったか。また、動物を適正に用いたか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
	動物数の削減	・使用動物数（実験使用数及び繁殖数）の削減に努めたか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
	動物の苦痛軽減 安楽死	・動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
	施設等の利用	・動物処置室及び動物実験・飼育室を適正に利用したか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
教育訓練	・動物実験実施者及び飼養者に動物訓練を行ったか ☒ 適 ☐ 不適→		
事故の発生	・事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。 ☒ なし ☐ あり→		
その他			
※動物実験委員会の 意見等			

動物実験実施状況報告書

提出日 平成 31 年 2 月 1 日

動物実験責任者		〔所属・職〕 医療栄養学科 教授 [REDACTED] 〔氏 名〕 加藤 隆幸 [REDACTED]	
研 究 課 題		医療栄養学科 3年後期必修科目 栄養生理学実験 摂取飼料の差異による免疫への影響	※承認番号
動物実験の実施期間		平成 30 年 10 月 9 日 ～ 平成 31 年 1 月 30 日 (飼育期間：平成 30 年 10 月 9 日 ～ 平成 30 年 10 月 26 日) (分析期間：平成 30 年 10 月 9 日 ～ 平成 31 年 1 月 30 日)	
総合的实施状況		・総合的にみて、適正に実施することができたか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
3 R	動物の選択	・使用した動物種は適正であったか。また、動物を適正に用いたか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
	動物数の削減	・使用動物数（実験使用数及び繁殖数）の削減に努めたか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
	動物の苦痛軽減 安楽死	・動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
	施設等の利用	・動物処置室及び動物実験・飼育室を適正に利用したか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
教育訓練		・動物実験実施者及び飼養者に動物訓練を行ったか ☒ 適 ☐ 不適→	
事故の発生		・事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。 ☒ なし ☐ あり→	
その他			
※動物実験委員会の 意見等			

動物実験実施状況報告書

提出日 平成 30 年 8 月 2 日

動物実験責任者		〔所属・職〕 医療栄養学科 教授 [氏 名] 加藤 隆幸	
研 究 課 題		医療栄養学科 2 年前期必修科目 解剖生理学実習	※承認番号
動物実験の実施期間		平成 30 年 4 月 2 日 ～ 平成 30 年 7 月 31 日 (飼育期間：平成 30 年 4 月 2 日 ～ 平成 30 年 4 月 20 日) (分析期間：平成 30 年 4 月 2 日 ～ 平成 30 年 7 月 31 日)	
総合的实施状況		・総合的にみて、適正に実施することができたか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
3 R	動物の選択	・使用した動物種は適正であったか。また、動物を適正に用いたか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
	動物数の削減	・使用動物数（実験使用数及び繁殖数）の削減に努めたか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
	動物の苦痛軽減 安楽死	・動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
施設等の利用		・動物処置室及び動物実験・飼育室を適正に利用したか。 ☒ 適 ☐ 不適→	
教育訓練		・動物実験実施者及び飼養者に動物訓練を行ったか ☒ 適 ☐ 不適→	
事故の発生		・事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。 ☒ なし ☐ あり→	
その他			
※動物実験委員会の 意見等			